

公益社団法人 上伊那教育会

2019年度 第1回 総会

2019年度 上伊那教育会第1回総会が、4月11日（木）教育会館 講堂で行われました。指揮 清水ひろみ 代議員（南箕輪小学校）、伴奏 森田ひろみ 代議員（箕輪西小学校）により、「仰望」が全員で斉唱された後、議長に 福永佐枝子 代議員（箕輪東小学校）を、副議長に 小平利哉 代議員（赤穂東小学校）を選出しました。



続いて議事に入り、今年度の理事、教育会正副会長等、理事の選出が行われ、その結果、今年度役員は以下のように決まりました。

代表理事・会長	林 武司（伊那小）
業務執行理事・副会長	小澤 徳夫（宮田小）
専務理事・事務局長	唐澤 喜市
理事・副事務局長	飯澤 隆
理事	小林 克彦
理事	矢澤 淳
監事	唐澤 豊
監事	竹村 勝（宮田中）

林 武司 新会長 挨拶

ただ今、総会、理事会の場で上伊那教育会長に選出していただきました、伊那小学校の林 武司です。微力な私にとりまして、教育会長としての責任の重さに身が引き締まる思いではありますが、代議員の皆さまはじめ関係する全ての皆様のお力をお借りしながら任務を全うすべく精いっぱい取り組んでいきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

各校におかれましては、入学式を終え、いよいよ2019年度が力強くスタートしたことと思います。本校も4日に入学式を済ませたところですが、キラキラと瞳を輝かせ、やる気に満ちた102名の新生を迎え入れることができました。そんな中、昨日は思いがけない雪。朝、1年生の担任が、昇降口で待っていると、服やくつをぬらした1年生が次々にやって来ました。そして、靴が脱げない、かさを閉じることができない、足が冷たくて泣き始める等々大変な状況だったようです。しかし、その担任の先生は、一人一人に



寄り添い、丁寧にかかわって下さいました。そして子どもたちは、世話をしてくれた先生に「ありがとう」の言葉を発していました。また、下校はしばらくの間、担任引率の集団下校を行っているわけですが、雪が降りしきる中、大きなランドセルを背負って歩きにくい雪の上を一生懸命歩いている姿に、付き添った担任も感動していました。その一瞬一瞬を精一杯生きている子どもたちと先生方を見ていると、熱いものを感じると共に、いつまでもこうした環境を大事にしていかなければならない、そう強く思います。そして、どのような教育環境が必要なのかを考えたとき、やはり、子どもをど真ん中において、私たち教師自身が学び続けながら、地域と共に歩んで行く、つまり上伊那教育会の基本理念「はじめに子どもありき」「限りなき土着性の追求」「たゆまぬ教師の研鑽」この3つが必然的につながってくるのです。

そんな意味も含めまして、本年度の上伊那教育会のキャッチフレーズを「自ら求め、共にあゆむ」とさせていただきます。教育を取りまく状況が相変わらず厳しい状況にある今、私たち教師は、子どもの健やかな成長のために、日々学び続け、その資質の向上に努めていくことが何よりも求められています。そのために、この上伊那教育会は、今まで大事にされてきたように、教師が、共に学び共に育つ場でありたいと願います。その中で、会員が教育会に支えられている、また、教育会を支えているという上伊那教育会員としての自覚をしっかりともち、事業へ自ら求めての参加参画を期待します。そして、同僚や仲間、先輩や後輩、地域社会と、人と人がつながり共にあゆんでいく。そのことを通して、教師としての自負を持って資質の向上に励み、自信を持って教育実践に取り組み成長していく。そしてそのことが子どもたちの学びと育ちにも繋がる、そんな上伊那教育会でありたいと切に願うばかりです。

代議員の皆さまには、1年間本当にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



協議では、前回の総会ですでに承認されている本年度の事業、及び予算について各部から説明があり、活動の方向と重点が確認されました。